

高橋 舞緒

好きな「まち」
銀座出身高校
日本大学豊山女子
高等学校

電源開発株式会社 土木建築部

卒論テーマ 通信鉄塔を対象とした設計用
解析モデル化法の検討(仲村研究室)修論テーマ 避難施設周辺に立地する道路橋の
通行可否が災害時の避難経路に及ぼす影響
—全国道路施設点検データベースを活用して—
(仲村研究室)

1

入社1年目は水力発電所で、発注者の立場から請負人が行う工事が契約どおりに履行されているかを確認する施工監理を経験しました。2年目からは土木建築部に所属し、施工計画の立案や積算、発注、施工監理支援までを一貫して担当しています。

積算は、適正な工事価格を算定したうえで契約を締結するための重要な業務です。この業務は工事全体のコストや品質にも影響するため、常に正確さと根拠が求められ、責任の大きさを実感しています。その一方で、自らが積み上げた積算をもとに契約が締結できたときには大きな達成感があり、やりがいを感じられる仕事だと考えています。

2

電力業界の工事は、土木だけでなく電気や機械など他部門と関わる機会が多く、幅広い視野が求められます。私はこれまで培ってきた土木の専門知識に加え、他分野への理解も深め、部門を越えて全体を見渡せる力を身に付けたいと考えています。また、大規模な工事になると、社内外の多くの関係者との連携が欠かせません。一つひとつのやり取りを大切にしながら、コミュニケーション力と調整力を磨いて、電力の安定供給に貢献していきたいと考えています。

グラウンドアンカー
工事完了検査

3

大学院では、研究と趣味の両方を充実させることに力を注ぎました。研究は集中する時期とそうでない時期でメリハリをつけ、計画的に成果を出せるよう心がけていました。博士前期課程2年の夏に土木学会の査読論文を投稿したときと、冬に修士論文をまとめたときは、かなり根を詰めて研究に取り組みました。

効率よく取り組むことでまとまった時間を生み出し、旅行にもよく出掛けました。大学院の2年間でアメリカ・フランス・シンガポールを訪れたほか、国内各地にも行っていました。訪れた土地ごとに異なる街並みや人々に触れることで、視野も大きく広がったと感じています。

シンガポールのユニバ
に行きました

学びも遊びも全力で楽しんだこの過ごし方は、計画的に物事を進める力や幅広い視点となって、今の仕事にもしっかり活かしています。

4

就職活動は、学部2年生から少しずつ始めておくことをおすすめします。まだ進路が定まっていなくても、どんな業界があり、その業界がどのような役割を担っているのかを早めに把握しておく、自分の興味の方向性が見えてきます。その際、まちづくり工学科の卒業生の就職先だけを見るのではなく、土木工学科や建築学科の就職先にも目を向けてみてください。分野が近い学科の進路を知ることで、まちづくり工学で学んだ知識や視点が活かせる職業が想像以上に多いことに気づけると思います。時間に余裕のあるうちから視野を広げ、納得のいく進路をじっくり選んでほしいと思います。

まち科8期生に
聞きました。

1 どんなお仕事をしていますか？

2 お仕事での目標はなんですか？

3 学生時代に打ち込んだことは？

4 先輩に就活へのアドバイスを！